

未来に向かって 一人ひとりが輝く北っ子！

～考え動き 人とつながり 挑戦し続ける子～

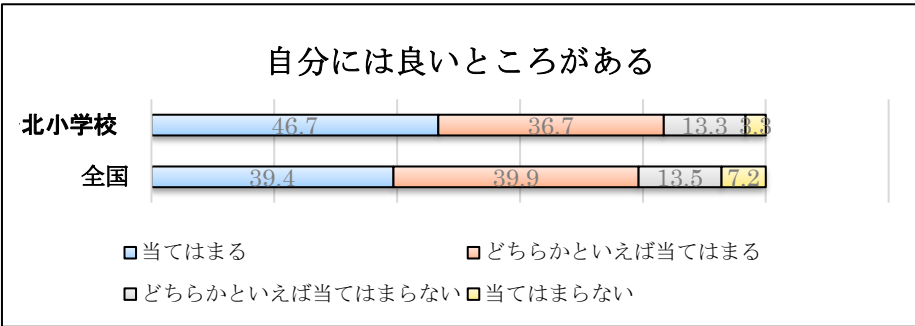
全国学力・学習状況調査分析より

今年度、四月十九日に全国学力・学習状況調査が行われました。今年は、四年に一度の理科が加わり、三教科での調査となりました。七月下旬に結果が公表され、本校においても、結果分析を行い、授業改善へとつなげています。

この調査は、学力と同時に、児童の生活や学習に対する考え等も調査され、学力だけでは測れない力もどのような状況であるかを見ることができます。

「自分にはよいところがある」という自己肯定感については、今年度も全国よりも高い傾向でした。しかし、コロナ前に調査した時よりも低い状況があり、子どもたちの自己肯定感を高める取組は今後継続する必要があります。

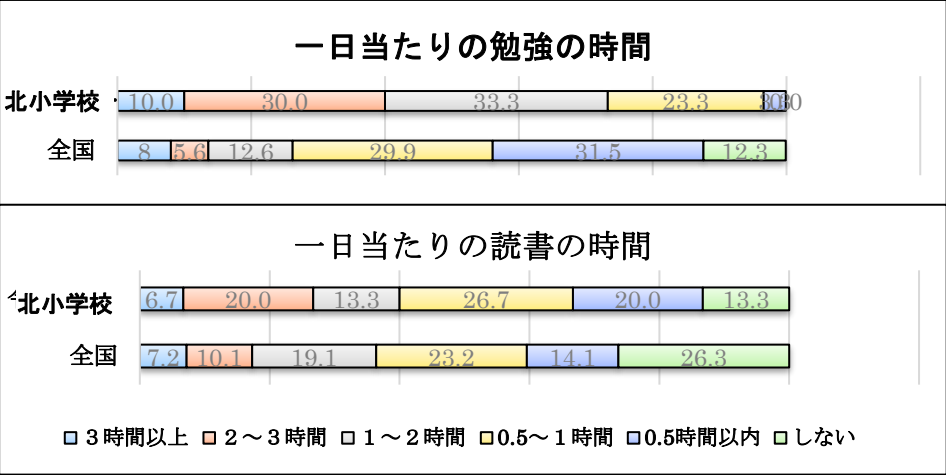
昨年度から、家庭学習の取組をさらに充実させるために「ぐんぐんカード」や「自主勉強認定証」などに取り組んできましたが、家庭での学習時間は大幅に増加して



います。家庭での学習が一時間以上の子どもは七割以上になりました。さらに、

スマホやゲームの時間と学力の関係として、ゲームの時間が少ない児童ほど学力が高く、全くしない児童が高いわけでもないという結果が文科省の分析から発表されてきました。スマホやゲームについては、少しの時間で切り上げられ（自制心）、やるべきことをすることが学力にも影響していることが分かります。同時に家庭での時間管理能力を高めていくことが今後必要であると実感しました。また、今まで少なかった読書時間が増加していました。読み聞かせや図書委員会の活動など様々な取組の結果、子どもたちの読書活動が改善傾向にあると考えられます。

今、学校は「主体的・対話的で深い学び」を実現させるための授業改善に取り組んでいます。さらに、タブレットを使い、まとめ・発信する活動や考えを深め広げる話し合い活動の充実が求められています。北小学校の取組が、このように子どもたちの学習意欲や学習習慣につながっていると信じ、今後も教育活動を展開してまいりたいと思います。



先生たちの夏休み研修

夏休みは、自分がしたいことを存分にチャレンジしてほしいと終業式で話しましたが、夏休みもあわずかですが、充実した休みを過ごせているでしょうか。

学校では、この夏休みを利用して、様々な研修を行っています。その中でも、幸世地区のお宝を学ぶ現地研修では今年も新しい発見がありました。一つは、北田井の水晶岩です。三年生がチャレンジ学習で調べに行っていました。山の中にドンと佇んでいました。安全山から転がり落ちてきたと言われている転石の中に水晶がたくさん見られました。次に、伊佐口の古墳を見学しました。大きな古墳で、石室の中は広く、立派な石に囲まれたとても涼しい空間でした。



他にも、人權の学習や二期期の準備など、日頃できないことをしています。また、地域の方と一緒に、運動会の玉入れに使う竹を切りに行ってきました。暑い中、お世話になりました。ありがとうございました。



伊佐口の古墳と北田井の水晶岩の見学